

## 7/30(日) 光る泥だんごを作ろう!

富水地区まちづくり委員会子どもサポート分科会が「光る泥だんご作り」を開催しました。コロナで3年間開催が見合わされていたこともあり、申し込みは早々に定員に達する人気でした。当日は立山分科会長の挨拶のあと、泥だんごマイスターの府川悟志さんのレクチャーで、富水・報徳小学校の1～3年生の児童と保護者合わせて41名が、だんご作りに挑戦しました。顔や衣服に泥が付くのも気にせず、さらさら粉をだんごに付けてくるくる転がし、ひたすら作業に没頭。見る見るうちに光る泥だんごができました。参加者からは、「楽しかった。もっとやりたかった」、「子供と一緒に夢中にできました」、「泥や粉など家でやったら絶対怒られてばかりになる作業でしたが、汚れても、こぼしても、スタッフの方が親切に対応して下さい安心してできました」などと大好評でした。下半期には、高学年を対象に同企画を開催する予定です。楽しみにしてください。

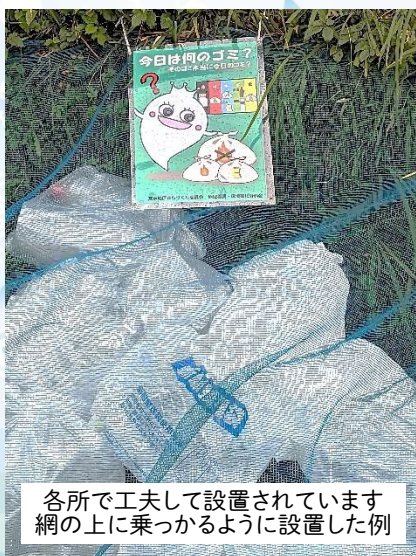


## 7/29(土) 「社会を明るくする運動」講演会

青少年育成会による「社会を明るくする運動」講演会が開催されました。澤口ゆりあ先生をお招きして「ネットトラブルから我が子を守れ!」をテーマに講演をいただき、多くの事例を示していただきました。動画投稿サイト上での炎上狙いの迷惑行為、そこで横行する陰謀論を盲信してしまう児童、動画投稿サイトで再生速度を速めた動画や激しく展開するショート動画を長時間視聴することで脳疲労や神経症を発症してしまうケース等々。子ども達のデジタルツールの節度ある利用が如何に大切か考えさせられました。

## 7/16(日) 防災リーダーの救命講習会

富水地区まちづくり委員会防災分科会が主催する普通救命講習会が、城北タウンセンターいずみで開催されました。受講者は、防災分科会9名、防災リーダー4名の計13名でした。突然の心筋梗塞、脳卒中等やけがで倒れ、呼吸や心臓が止まった時、救急車が来るまでに約9分かかると言われていますが、その間、救命の向上につながる応急手当が重要です。受講者は、3つの班に分かれ、小田原市消防栢山出張所の3名の講師から、訓練用人形を使用し、①胸骨圧迫、②AEDを使って心肺蘇生の実践的な実習を受講し、「普通救命講習修了証」の交付を受けました。



各所で工夫して設置されています  
網の上に乗かるように設置した例

## 7月中旬より 各地のゴミ集積場にポスター

富水地区まちづくり委員会地域振興・環境美化分科会では「ゴミ集積場のゴミ出しマナー」を啓発する目的でポスターを作成しました。デザインは小田原城北工業高校デザイン科の生徒に作成していただいたものです。全部で7種類あり、どれも色鮮やかなポスターになっています。富水地区では、いまま宅地が造成され、集積場も年々増加しています。ゴミ収集作業員さんが効率よく回収できるように、各家庭でマナーを守り、収集員さんに感謝の意を示したいですね。

